

相産だより

誠実 創造 努力



創立記念講話

4月18日は本校創立記念日です。前日の17日(木)5・6校時、創立記念講話が行われました。

講師は本校商業科卒業(16回生)の勝谷公美子先生です。現在、相生市農村女性連絡協議会(通称:「食と農を守るかあちゃんず」)代表であり、相生市の農業振興と地域の活性化を目指し、地産地消の推進、都市と農村との地域交流、子どもたちへの食育推進などに、熱心に取り組まれています。また、「相生産業高校 異業種交流会」の委員として、会議に参加していただき、さらに相産広報部ティピラスと共に商品開発にご尽力いただいております。今回の講演では、演題「食と農を守るかあちゃんずの活動」とし、これまでの活動内容やティピラスとの新しい相生市の特産品づくりについて、多くの心に響くお話をいただきました。経験豊富な先輩の言葉に生徒たちは一心に耳を傾けていました。以下に生徒の感動の声を列記します。



～生徒感想(抜粋)～

- ・勝谷さんが作った商品が世界に認められ、銀賞を受賞するという限られた人にしか取得できない賞を受賞したことに驚きました。何事もあきらめずに何回も挑戦を続ける姿勢がとても魅力的で憧れました。
- ・勝谷さんの決断力や行動力、チームへの思いがとてもすごいと思いました。海外での授賞式の受付時、受付の手続きができていないと聞き、仲間の方がとっさに「何かあったときのために」と、持ってきていたファイルを出して受付を突破できたという話を聞き、ハプニングが起こっても冷静に対処できたことが心に残りました。
- ・ゆずみそが成功した後も、それに満足せず、ゆずみそをアレンジして、唐辛子入りや、ショウガ入りなど、数々の商品を作り上げたことがすばらしいと思いました。勝谷さんは自分たちの大先輩として、大切なことを教えてくれました。チャンスが来たら積極的にチャレンジしていきたいと思いました。何事にも全力で取り組み、悔いのないようにしていきたいです。
- ・勝谷さんの講演を聞き、食に対する意識がより一層深まりました。2016年のモンドセレクションという国際的な食品コンクールで銀賞を受賞したことが、とても印象に残りました。日本国内だけでなく、世界にも認められてすごいと思いました。そして、チャンスが来たときは後悔しないように、よく考えてチャレンジすることが大切だということも印象に残りました。
- ・ヨーロッパで世界に認めてもらえるところまで大きな事を成功させるには、様々な挑戦が重なったの結果だと思います。相産の先輩から教わった経験を今後に活かし、一度きりの人生を無駄にしないようにしたいです。挑戦することに年齢なんて関係ないと思いました。相生市の野瀬かんぴょうについて初めて知りました。夕顔という植物からできあがるのは約5%で、かんぴょうが貴重であると知り、驚きました。また中心部分をゼリーにするという発想がすばらしいと思いました。これからの人生を後悔しないよう、様々なことに挑戦したいです。

